

2020(令和2)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2020年6月20日(土) ・1回目13時～14時 ・2回目15時～16時 定員各6名

【会場】新オレンジサポート室(宜野湾市普天間1-9-3)

2. 本日のプログラム

- ・1回目 自己紹介 近況報告 リモートカフェ可否の確認
- ・2回目 自己紹介 近況報告 リモートカフェ可否の確認 携帯の使い方 ストレッチのやり方

3. 参加者数 1回目 5名(内訳：当事者1名、家族3名、専門職1名)

2回目 2名(内訳：当事者0名、家族1名、専門職1名)

4. 当日の様子

新型コロナウイルスの影響で3月から中止となっていました。規模を縮小し感染予防対策を講じて再開いたしました。

3か月ぶりの開催のため、一人一人近況報告を行いました。家族から、自粛生活で感じたことや考えたこととして「デイサービスを2ヶ月休んだ。短時間でも本人・家族とも生活にメリハリがつくので通った方が良かったと思った。」、「ゆくゆくは事ばかり考えず今できる事を優先しようと割り切った。」、「明日の事、昨日の事を考えても仕方がない、今何が出来るかを考えようと思った。」、「しばらく面会できず家族を忘れていたかも・・・と心配したけど、それでもいいかな・・・とも思った。でも覚えていたけどね。」などの話が聞かれました。当事者からは、「今まで自己流で編み物をしていて編み目がガタガタだったから、カルチャーセンターを見学して良かったら申し込む。」との話があり、新しい目標と楽しみを見つけ進もうとしている様子がうかがえました。また、携帯電話やパソコンの使い方、介護家族へのストレッチ指導など、学びの場となりました。

以上



* 次回：2020年7月18日(土) ①13時～14時 ②15時～16時(各6名)